組立・施工説明書 フェンスII

'14-10月 発行　1ページ

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に…

商品を正しく組立･施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後に…

取扱説明書をお施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

注　意

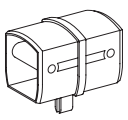
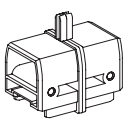
- この商品は、敷地境界・隣地境界を目的とした一般住宅地外構用です。
  防護柵や手すりの機能はありません。高低差のある境界やベランダ、廊下、屋上等転落などの重大事故が起きるおそれのある場所には、使用しないでください。

お願い

- みだりに改造や変更をしないでください。
- 柱の埋込み部分先端には、**柱内部へのモルタル侵入防止のために小口キャップ**が取付けられています。施工時、はずさないでください。ブロック穴にあらかじめモルタルを入れ小口キャップなしの柱を差込む施工をした場合、**侵入したモルタルによって柱が腐食膨張するおそれがあり、ブロック割れ**の原因になります。
- ブロックに柱を立てる際、ブロックの連結部には柱を立てないでください。
- 柱の埋込み部分の柱内部には、**凍結破損防止のため発泡スチロール**が挿入されています。施工時、抜き取らないでください。冬期柱内に浸入した**水が凍結した場合、発泡スチロールなしの柱は膨張しブロック割れ**の原因になります。
- **本体連結部および端部からの柱位置は、35 ～ 300㎜ の範囲**で施工してください。
  それ以上離れると耐風圧性能が著しく低下します。(自由柱施工)
- **コーナー部には風が集中しますので、必ず柱を 2 本以上**で施工してください。
  (自由柱施工)
- 基礎コンクリート (モルタル) には、**腐食性の強い塩素系混和剤 (急結剤等) や強アルカリ系硬化促進剤、海砂等は使用しない**でください。柱の腐食が促進され破損事故につながるおそれがあります。
- 凍結破損防止のため、**水抜き穴は、コンクリート・モルタルでふさがない**でください。
- **柱のレベル調整は、コンクリート・モルタルが固まる前**に行ってください。
  固まった後の調整は、柱の強度が著しく低下するおそれがあります。
- 組立は、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
  締め付け不良は事故の原因になります。

同梱部品一覧

■フェンス本体(**YFE-(DS)21-20□□**)

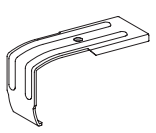
姿　図	——			
部材・部品名	フェンス本体	上胴縁連結具	下胴縁連結具	中トラスタッピンねじ1種 (φ4×10)
品　番	—	**K-38915**	**2K-34097**	**AM-4010D8**
個　数	1	1	1	4

■オプション部品 補助柱(**YFE-(DS)K1**)

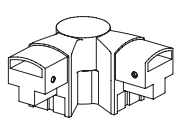
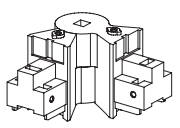
姿　図	——
部材・部品名	補助柱
品　番	—
個　数	1

■柱・部品

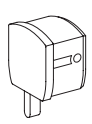
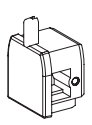
自由柱(**YFE-(DS)PF1-□□**)

姿　図	——			
部材・部品名	自由柱	上部固定金具	中トラスタッピンねじ2種 (φ4×25)	注意ラベル
品　番	—	**4K-16342**	**BM-4025GD8**	**2K-42631**
個　数	1	1	1	1

コーナー継手(**YFE-(DS)B3**)

姿　図			
部材・部品名	コーナー継手(上)	コーナー継手(下)	中トラスタッピンねじ1種 (φ4×10)
品　番	**2K-34106**	**2K-34107**	**AM-4010D8**
個　数	1	1	4

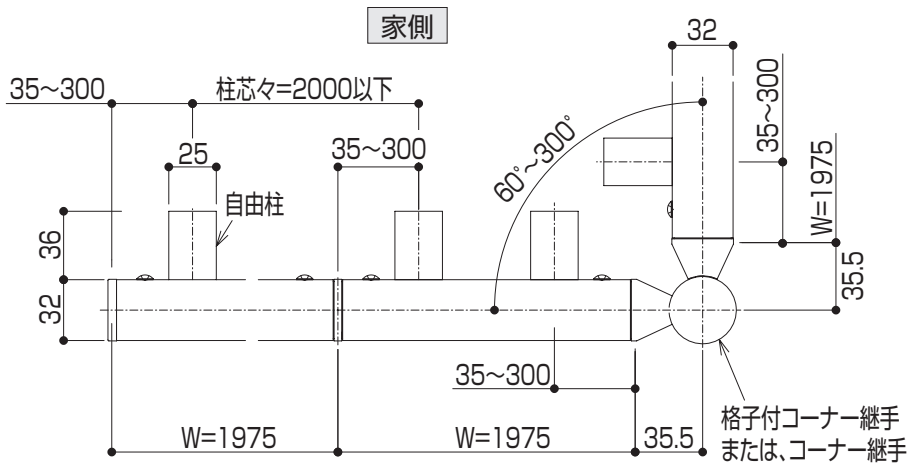
エンドキャップ(**YFE-(DS)B7**)

姿　図				——
部材・部品名	上胴縁キャップ	下胴縁キャップ	中トラスタッピンねじ1種 (φ4×10)	組立･施工説明書
品　番	**2K-39041**	**2K-34099**	**AM-4010D8**	—
個　数	2	2	4	1

格子付コーナー継手(**YFE-(DS)B4-□□**)

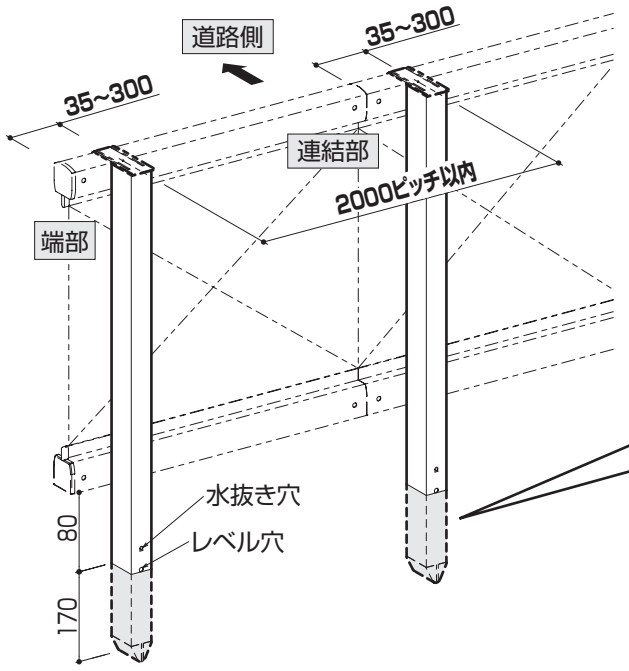
姿　図	——	
部材・部品名	格子付コーナー継手	中トラスタッピンねじ1種 (φ4×10)
品　番	—	**AM-4010D8**
個　数	1	4

寸法図（単位：mm）



組立・施工説明書 フェンスII

1. 柱の施工

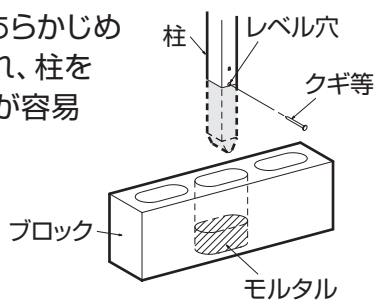


お願い

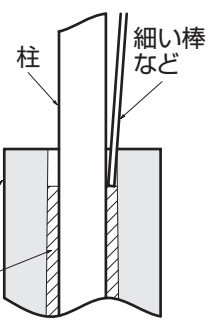
- **フェンス連結部に柱は立てられません**のでご注意ください。
- **本体連結部および端部からの柱位置は、35～300mmの範囲**で施工してください。

ポイント

- ブロック穴にあらかじめモルタルを入れ、柱を差込むと施工が容易です。



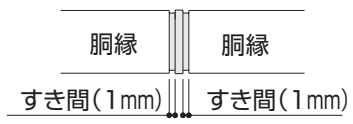
- 細い棒等で突き固めながらモルタルを充てんしてください。

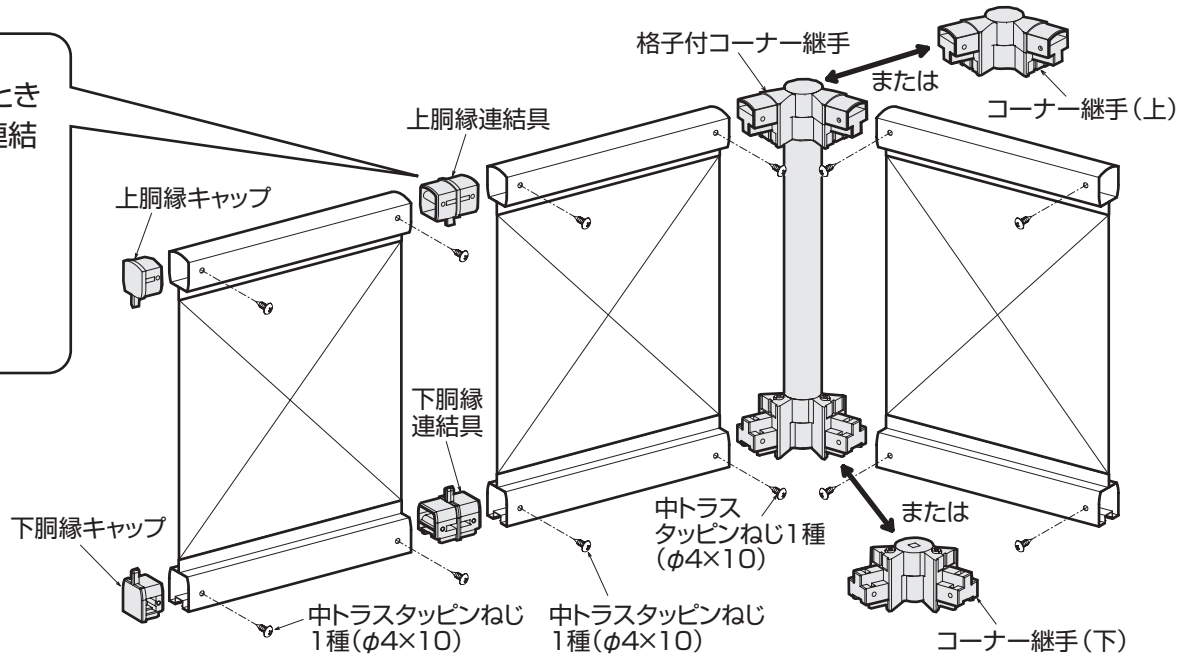


2. フェンス本体の連結

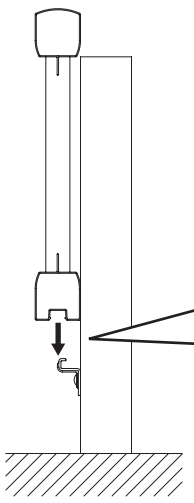
ポイント

アルミの熱膨張を考慮し、気温が低いとき**(約10℃以下)**に施工される場合には連結部に**すき間を1mm**あけてください。

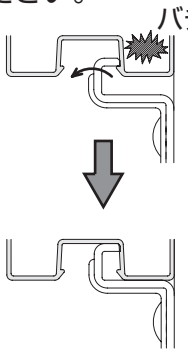


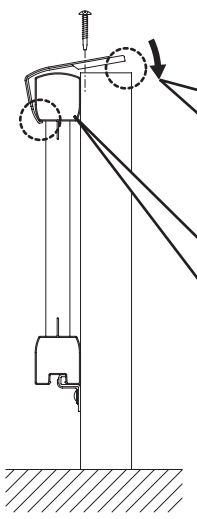


3. フェンスの取付

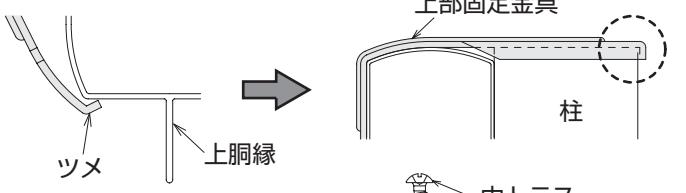


❶本体位置決め後、「バチン」と音がするまで押し込んでください。

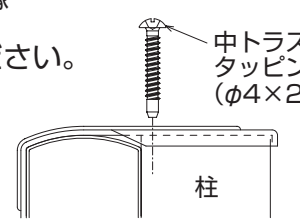




❷金具のツメを上胴縁に引っ掛けて、柱にかぶせてください。

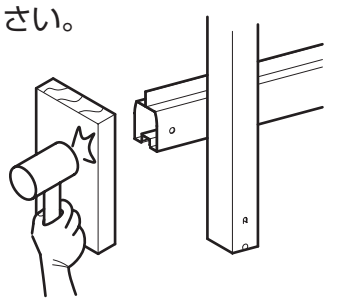


❸ねじで固定してください。

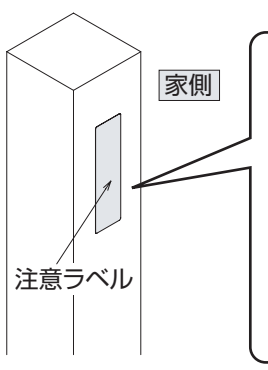


ポイント

本体がスライドしにくい場合は下胴縁にあて木をして木づちで叩いてください。



4.注意ラベルの貼付

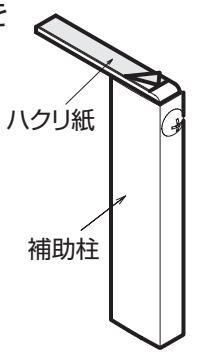


柱に同梱の注意ラベルを家側の目立つ位置に貼付けてください。

⚠ 注意
フェンスをゆすったり、のったり、よりかかったりしないでください

補助柱(オプション)の取付

❶補助柱のハクリ紙をはがしてください。



❷フェンス本体中央部の下胴縁にはめ込んでください。